

夏油高原スキー場の将来構想の概要

今後取り組んでいくべき課題

- ・ 施設の老朽化
- ・ 宿泊機能の充実
- ・ グリーンシーズンコンテンツの拡充
- ・ 地域団体等との連携強化

<10年後の将来像>

「通年・滞在型の夏油高原リゾートへ」

1 安全で快適な
施設

2 通年で楽しめる
観光施設

3 夏油高原
エリアを巻き込む
スノーリゾート形
成の拠点

4 地元住民が
気軽に立ち寄れ
る遊びの場

10年後に向けた主な方向性

- ・ 地域との連携を強化しながら公設民営方式による運営を継続し、地域経済への効果を維持します。
- ・ 施設の維持管理計画を策定し、運営事業者と連携して現状の施設を適切に維持します。
- ・ グリーンシーズンのコンテンツを拡充し、通年型の観光施設として充実を図ります。
- ・ 地域団体等との連携を深め、夏油高原エリア全体の活性化を促進し、スノーリゾートの基盤を形成します。
- ・ リゾート化に向けた運営事業者の取り組みを支援し、滞在型の観光施設としての充実を図ります。
- ・ 地元住民の利便性向上を図ります。

<その先の将来に向けて>

1 スノーリゾートの形成に向けた環境づくり

- ・ 夏油高原エリアのブランディング強化やDMO設立、周辺地域と連携したコンテンツの充実を推進してスノーリゾート形成を図り、北上市の観光拠点として夏油高原の魅力を世界に発信します。

2 環境と開発の両立

- ・ 持続可能な観光を目指し、自然環境及び地域資源を保護しつつ、民間活力による施設環境整備の仕組みづくりを検討します。